

コミュニティFMによる防災情報に関するシンポジウム

趣旨

災害後の地域や生活に密着した情報の伝達手段として、コミュニティFMには大きな期待がかかっている。平成23年東北地方太平洋沖地震の際にも、コミュニティFMの力は多いに評価されている。

しかしながら、地域に密着し小回りが利く組織があるが故の弱点もある。そこで、青森を代表する2社のコミュニティFMが東日本大震災を含め、実際の災害時にどのように情報を収集し、その内容を伝えたかを紹介してもらい、それを通じてコミュニティFMに出来ること出来ないことの確認を行いたいと思う。

災害時の情報入手方法は一つではない。また、コミュニティFMと言っても様々な形態がある。今回のシンポジウムを通じて、情報入手に関する知見を得ていただければ幸いである。

概要

日時：平成26年(2014年)2月11日, 14:30~17:00

場所：土手町コミュニティパーク, 多目的ホール(弘前市土手町31)

主催：弘前大学震災研究交流会

後援：弘前市, 弘前地区消防事務組合, 青森県,
FMアップルウェーブ, コミュニティラジオ局 BeFM, NHK 青森放送局,
自然災害研究協議会東北地区部会, 日本自然災害学会東北支部

参加費：無料

内容：(総合司会 小田桐睦弥)

○主催者挨拶 檜 貢(弘前大学震災研究交流会代表) 14:30~14:35

○基調講演：柴田 実 氏(元NHK放送文化研究所担当部長) 14:35~15:15

「災害時のメディアの役割」(仮題)

休憩(10分)

○コミュニティFMからの報告：各20分

塚原 隆市 氏(ビーエフエム代表取締役専務・放送局長) 15:25~15:45

波多野 厚緑 氏(アップルウェーブ取締役) 15:45~16:05

○パネルディスカッション(コーディネータ：片岡俊一) 16:10~17:00

パネリストは基調講演の柴田氏と塚原氏, 波多野氏

連絡先

片岡俊一(弘前大学大学院理工学研究科)

Tel: 0172-39-3616,

E-mail: kataoka@cc.hirosaki-u.ac.jp

